

発災時 身を守るために!

家庭での行動

地震発生

●まずは身を守る

揺れを感じたら落下物から身を守る。家具や火元から離れる。



揺れがおさまったら

●靴またはスリッパを履く

ガラスの破片や散乱物から足を守る。



●火の始末

ガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。もし出火していたら初期消火を。



●避難出口の確保

玄関や窓を開けて避難出口の確保。

●正しい情報を聞く

ラジオなどで正確な情報収集。複数の情報収集手段の確保。

●家族の安全確認

避難行動

●必要に応じて避難開始

避難が必要な場合は、非常用持出し品を持って一時避難場所・災害時避難所へ。



●隣近所で声を掛け合う

力を合わせて助け合いながら避難する。



外出先での行動

職場では

窓際やロッカー・資料棚などから離れ、デスクの下などに入る。



デパート等では

かばんなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品から離れ、指示に従う。



オフィス街・繁華街では

ビルの窓ガラスが割れて落下してくる場合があるので、頭を守り、安全な場所へ移動する。



地下街では

60メートル間隔に出入口があります。揺れがおさまってから落ち着いて行動する。(放送などの指示に従う)



安否確認はどうするの? 身近な人と話し合っていますか?

災害用伝言ダイヤル(171)

災害発生時に電話が繋がりにくい状況になった場合、安否情報を録音して伝える(共有する)ことができます。

■使い方



●登録可能件数:1~20件(災害の規模による)

●電話番号:被災地の方の固定電話番号(市外局番からダイヤル)・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号

※1 被災地内からの電話の場合も固定電話番号は必ず市外局番からダイヤル。家族間で登録する番号を決めておく。

※2 録音時間が短いのであらかじめ録音内容を考えておく。

●災害伝言ダイヤル 体験しよう! 無料

- 【体験利用日】・毎月1日及び15日 終日
- ・正月三が日(1/1~1/3 終日)
- ・防災週間(8/30 9:00~9/5 17:00)
- ・防災とボランティア週間(1/15 9:00~1/21 17:00)



避難 情報収集は複数の方法で!

主な情報収集手段

●危機管理室 防災ツイッター



●おおさか 防災ネット



●大阪市防災アプリ

大阪市防災アプリ 検索



●同報系防災行政無線 (屋外スピーカー)



●テレビ ●ラジオ

避難勧告等の名称の意味、知っていますか?

避難準備情報・高齢者等避難開始

- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

※想定される災害の規模に応じて発令されます。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

避難勧告

- 発令された対象地域で通常の避難行動ができる人は、計画された避難場所等への避難行動を開始してください。

避難指示(緊急)

- まだ避難していない人は、急いで避難場所へ避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

北区役所防災担当からのお知らせ

8月30日から9月5日は防災週間です

■防災週間に伴う同報系防災行政無線発信訓練が実施されます

【とき】8/28(月) 10:30頃

※同報系防災行政無線は小・中学校などに設置されています。設置箇所は6.7面、防災マップに掲載しています。

■大阪880万人訓練

【とき】9/5(火) 11:00

同報系防災行政無線などで一斉に地震発生情報が放送され、携帯電話の緊急速報メール/エリアメールを利用し、災害情報を発信します。訓練に参加し防災力を高めましょう。



防災出前講座の申込を受け付けています

少人数から大人数、また幅広い世代に対してわかりやすくお話をさせていただきます。どうぞ、気軽にお問い合わせください。

北区役所Facebookで地域防災の取組などを発信しています!

